

## 県都デザイン戦略 骨子（修正案）

## I 趣 旨

## ◎背 景

- ・ 戦災、震災から60年余りが経過し、建物や都市インフラの更新時期が到来
- ・ 北陸新幹線の県内延伸など、重要な交通インフラ整備の進展をひかえ、重要性を増す県都の位置付け
- ・ 厳しさを増す地域間競争（外的要因）や、本格的な人口減少、超高齢化、地球温暖化等の諸問題（内的要因）への対応の必要性

## ◎目 的

- ・ これを機として県都の再設計を構想し、福井県の経済、社会、文化の中心地としての新たな都市像を提示
- ・ 全体性と長期的な視点を持って都市を再編し、次の時代に受け継ぐ県都を実現

## （検討の視点）

## [建物更新等にあわせた都市の再構築]

- ・ 県庁舎、市庁舎をはじめとした公共施設等の移転・再配置を想定し、都市の再構築の方向性と実現に向けた手段を提示

## [短期的事業の具体化と中長期構想の提示]

- ・ 短期的に実現する事業と、将来の世代が議論を深め具体化する中長期的な構想を提示。中長期的な構想については、方向性と実現に向けた手段を提案

## [新たに未来の歴史をつくる]

- ・ 歴史や伝統を大切にしながら、県民が誇りを持てる、県都の新しい歴史となる魅力を形成

## [県民・市民との協働]

- ・ 県民・市民と将来像を共有し、行政に加え、民間の盛り上がりや協力、応援のもとでビジョンを実現

## ◎目標年次 2050年

短期目標年次 2018年 福井国体開催

中期目標年次 2025年 北陸新幹線敦賀開業

## ◎対象エリア 福井市都市計画マスタープランにおける「まちなか地区」を想定

## ◎県都のめざす姿

### [城が象徴する歴史をつなぐ都市]

- ・埋もれた歴史を掘り起こし、新たな県都の顔として、城を礎に発展した歴史を象徴する空間を形成
- ・城下町の名残や近代化、復興の記憶など、地域の歴史を目に見えるかたちで復活・保存し、次代へ継承

### [伝統を大切に、新たな文化を創造する都市]

- ・駅を中心に、文化や交通が発達し、人を惹きつけ、新たな活動を生み出す都市本来の魅力を拡大
- ・芸術・文化、自然との共生など、創造的な営みに身近に触れ合える都市を実現

### [緑豊かで暮らしやすい庭園のような都市]

- ・貴重な生態系を残す足羽山、足羽川に象徴される、緑豊かで、美しい街並みの都市を形成
- ・空間に余裕があり、誰もが移動しやすく、暮らしやすい都市を形成

## Ⅱ デザインの内容

### 1. 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する県都の形成

#### (1) 歴史を象徴し、人が集まる中心となる「福井城址公園」の整備

福井城址を、城下町福井を象徴する最も重要な歴史資源として活かし、県都の新たなシンボルとするため、県庁舎、市庁舎を移転・再配置し、福井城址公園として再編する。

#### 【実現化方策】

##### ○城址、中央公園などを一体化した「福井城址公園」の整備

城址内、中央公園、県民会館跡地およびその周辺を「福井城址公園」として整備する。中央公園内での石垣等の遺構を活用した広場の整備、城址内での御門、櫓等の復元など、歴史を象徴する緑豊かな空間を形成する。

復元にあたっては、県民、市民に寄付を募るなど気運を醸成して順次推進する。

## (2) 地域の歴史を実感できる街並みの形成

県民、市民が誇りを持ち、観光者も楽しむことができる、歴史を感じるまちにするため、幕末から明治維新にかけての歴史資産や、今も残る近代化遺産を保存・活用し、歴史の厚みのある街並みを形成する。

### 【実現化方策】

#### ○旧跡を活かした新たな歴史の拠点と回廊の形成

幕末から明治維新に活躍した福井藩士など偉人にまつわる旧跡や、城郭の一部として点在した御門の場所などを、新たな歴史の拠点として整備する。

また、これらの歴史資源と、養浩館、福井城址、北の庄城址、愛宕坂などをつなぐ回廊を形成する。

#### ○時代を物語る近代建造物の保全・活用

福井地方裁判所、三井住友信託銀行（旧福井信託銀行）、セーレン本社ビル、聖三一教会、浜町の料亭、戦後の商家建築、水道記念館など、歴史的な建造物を保全・活用する。

#### ○地域ごとの歴史を活かした景観形成

養浩館周辺、浜町、愛宕坂周辺、呉服町、福井城址周辺等を歴史的界限と位置付け、地域の歴史を活かした景観づくりをする。

#### ○城下町の名残を旧町名、通りの名称として復活

城址周辺～旧北国街道沿い等のエリアにおいて、城下町の旧町名を復活する。

福井城址周辺の通りを、百間堀通り、堀端通りなど、堀の記憶を映す名称に変更する。

### (3) 文化を育て、発信する県都の実現

これまでの歴史に加え、新たな文化を創造し続けるため、文化機能が集まる中心地へと再構築する。

また、新幹線開業の機をとらえ、福井が培ってきた、漆器、眼鏡、打刃物等、優れたものづくり文化や豊かな食文化を発信する拠点を整備する。

#### 【実現化方策】

##### ○福井城址公園周辺への芸術・文化拠点の配置

子どもから大人までが、芸術・文化に触れ合い、創作的な活動を行い、福井のものづくり文化を発信する、新たな拠点を整備する。

##### ○福井の「食」を集め、食文化を発信する機能の配置

旬の農林水産物が買える「市場」や、おろしそばなど福井を代表する料理が楽しめる拠点を整備するなど、福井の「食」を発信する機能を充実する。

##### ○新たな活動を生み出す若者等のための空間の形成

駐車場など低未利用地や空き店舗等を活用して、文化・スポーツ活動やまちづくり活動などが展開できる、若者等のための空間を創出する。

## 2. 美しく持続可能な都市の実現

### (1) 緑豊かな風格ある都市への再編

新幹線開業や建物の更新時期を捉え、公共施設の移転・再配置を含めた街区再編、連鎖的な再開発の誘導により、民間投資を促進する。

また、緑の不足や景観の不統一、回遊性向上などの課題を解決し、緑が豊かで街並みが統一された街区を形成する。

#### 【実現化方策】

##### ○県都の顔となる駅前広場の再整備

人が集まる、緑と賑わいのある駅前広場を整備する。また、駅と城址、駅の東西を結ぶ歩行者の動線を整備する。

##### ○都市の骨格となる「緑のシンボル軸」の形成

東西・南北の大通りを、緑豊かなシンボル軸として整備する。また、車優先の道路空間から、歩行者中心の空間へと利用転換する。

##### ○駅・城址周辺の街区再編、景観デザイン誘導

公共施設を含め、建物の更新時期を捉えた城址周辺街区の再編により、経済、行政機能の中心地として再構築する。また、緑の空間や堀を想起させる水辺、用水など、城址と一体となった景観が広がる街並みを実現する。

##### ○まちなかの魅力を高める新たな土地利用

公共が所有する土地やまちなかの低未利用地を、緑の広場に整備するなど、市民が利活用できる空間として利用転換する。

## (2) 人や環境に優しい交通とコンパクトな都市構造の実現

公共交通の幹線軸を強化し、拠点への都市機能の集積と、沿線への居住が誘導された、持続可能な都市構造を実現する。

自動車の交通量減少や小型化、超高齢社会に対応した交通システムへと転換し、環境負荷の低い都市を実現する。

### 【実現化方策】

#### ○駅を中心とする交通機能の強化、都市機能集積の活用

福井駅、田原町駅での鉄道、バス等、交通機能結節を強化する。

田原町駅周辺については、大学やフェニックスプラザ、図書館、体育館等の集積や公共交通結節機能を活かし、集い・交流のできる拠点としての魅力を向上する。

#### ○都市構造を形づくる東西・南北交通の強化、定住誘導

福井駅を中心とした基幹交通体系と、それを補完する細やかで利用しやすい公共交通網を整備し、子育て世代から高齢者まで、多様な世代の沿線への居住を誘導する。

#### ○歩きやすく雨・雪に強い歩行者空間の形成

子どもや高齢者、観光客、外国人等、多様な歩行者が歩きやすく、雨・雪に濡れない歩行環境を整備する。

#### ○まちなかでの移動に便利な交通ネットワークの形成

主婦や高齢者、観光者等の短距離移動手段として、自転車利用や超小型EV等の交通システムを整備する。

### 3. 自然を守り、緑や水と共生するまちなかの形成

#### (1) シンボルとしての足羽山、足羽川と緑がつながる空間の形成

足羽山、足羽川を、四季が感じられる、都市内の大切な自然として守り続けるため、市民全体で保全・活用する。

また、民間施設や道路を含めた緑化を推進し、足羽山、足羽川から緑が広くつながる空間を実現する。

#### 【実現化方策】

##### ○足羽山・足羽川の緑・生態系の保全

足羽山・足羽川の貴重な生態系を市民全体で保全する。

##### ○自然学習・環境教育の場としての足羽山の活用

都市に隣接する里山を、市民や子ども達の学びの場として活用し、使いながら森を守る活動を拡大する。

##### ○足羽山・足羽川の眺望を守り、緑をつなぐ景観づくり

足羽山・足羽川の眺望を守り、まちなかに緑を広がる都市空間を実現する。

## (2) 文化と活動の空間としての足羽山、足羽川の再生

足羽山、足羽川を、駅・城址周辺から気軽に行け、足を伸ばしたくなる場とするため、愛宕坂、浜町周辺の歴史・文化や、足羽川の水辺空間を活かして再生する。

### 【実現化方策】

#### ○「文化の杜」としての足羽山の再生

足羽神社の参道として栄え、文化人が集まった歴史をふまえ、アトリエや工房を誘致するなど、創作的な活動ができる文化空間を形成する。

#### ○水辺と桜堤を活かした足羽川での活動空間の形成

水辺を活かして、親子で遊び、楽しむことができる環境を形成する。

#### ○食と文化を楽しむ空間としての足羽川周辺の魅力向上

足羽川の水辺と浜町等の足羽川周辺の環境を活かし、文化的な雰囲気の高い界隈を形成する。

### Ⅲ 推進方策

#### 市民意識を醸成し、協働する仕組みづくり

県民・市民・大学やまちづくり団体等とともにビジョンを共有し、公共空間をつくりあげる機会や場を創出  
社会実験やワークショップ、歴史的資源の復元に向けた寄付募集などの実施

#### デザインマネジメントの徹底

将来に渡って質の高いデザインを担保する県、市、専門家によるデザインマネジメント体制を整備

#### 県内外からの英知を集め、空間デザインに活用

プロジェクトの実施に当たっては、アイデアコンペ等を実施し、空間デザインに県内外の英知を集結